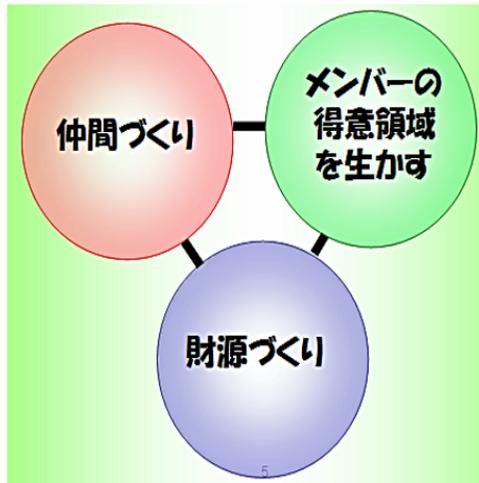


令和3年度 合同会社ロコムテック

合同会社ロコムテック

Locomtec

○事業目的 地域公共サービスの事業化企画と支援



地域公共サービスの領域には手つかずの領域がある。

地域には自由な時間とスキルを持ったプラチナ世代が大勢いる。

求められているサービスとスキルを持った人を組み合わせて地域密着のサービスを企画し事業化支援を行う。

プラチナ世代の活躍が地域の活力を生む。

ロコムテックは Local+Communication+Technology を組み合わせた造語 Locomtec の和名です。

地域の活力が日本を変える今まさにチャンス到来です。その源泉はプラチナ世代で、この世代が活躍できる仕組みが必要です。

仕組みに必要な要素は、

①仲間づくり ②メンバーの得意領域を生かす ③財源づくり。そしてその要素を地域に合わせて組み合わせてリーディングする組織が要になります。

ロコムテックは情報システムと積み上げた Know-How で地域公共サービスの事業化を企画し実行を支援する要の会社になることを目指しています。

1. 設立の経緯

ロコムテックの法人設立は2016年6月16日です。地域に住む各世代にとって住みよい街とは、その地域特有の「地域公共サービス」が充実していることです。まず、2つの非営利一般社団法人設立に参加し地域公共サービスの事業化に取り組みました。しかし、非営利の法人は十分な財源と人材確保と自由な運営に難があり、それを支援する目的で合同会社を設立しました。この会社は、地域性のある公共サービスを収益力のある継続した事業になるよう取り組んでゆきます。

地域公共サービスの概念

公共サービスの領域には、
企業も、行政も、ボランティアも、
入りにくい
地域性のある、個人的要望に近い
地域公共サービスの領域がある



地域公共サービスの具体例（実施済み）

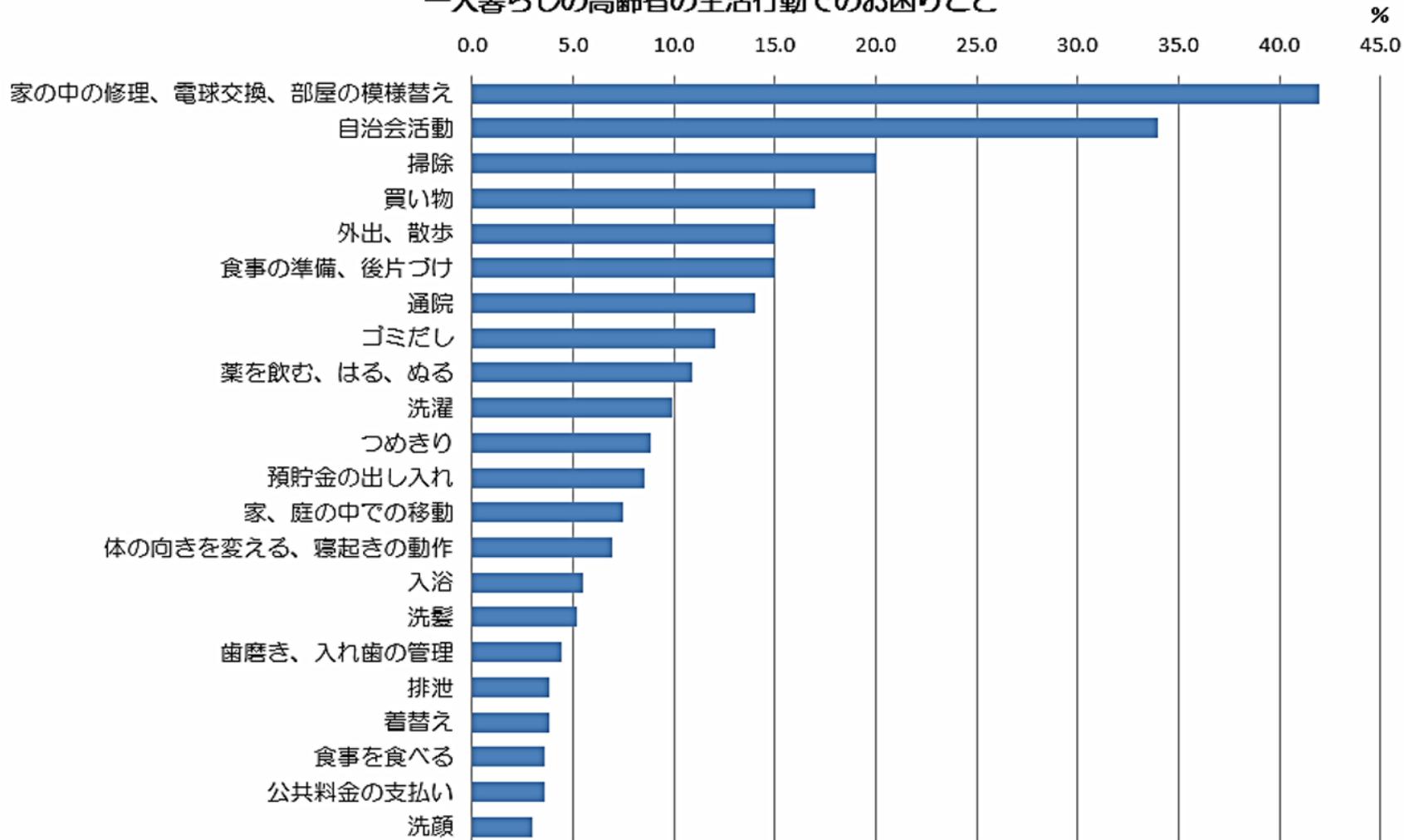
NO	事業のヒント	事業者	日時
1	厚木市受託事業 河川みどり部河川ふれあい課 1. 宮郷水辺の広場（511㎡）3回 2. みはる野遊水地（892㎡）2回 3. 宮の里第2調整池（3283㎡）2回	コミュニティカフェ荻野	2014/6/1
2	空き家の管理 見回り、部屋の通風、庭木の剪定、庭の草刈り、郵便ポスト管理	コミュニティカフェ荻野	2016/1/1
3	Tobioギャラリー開設（地域コミュニティスペース）	コミュニティカフェ荻野	2016/2/3
4	小規模修理の請負（木工クラブの延長線上の事業）	コミュニティカフェ荻野	2016/2/7
5	公園ベンチの修理等の施設管理	コミュニティカフェ荻野	2016/2/7
6	あつぎこどもの森公園の運営管理	あつぎこどもの森クラブ	2016/2/7
7	厚木市農政部環境政策課 1. みはる野南東斜面（3500㎡） 3回	コミュニティカフェ荻野	2016/7
8	みはる野太陽光発電所の除草作業	合同会社ロコムテック	2017/4/1
9	庭木のせん定及び除草作業（3件+1件）	合同会社ロコムテック	2018/3/1
10	ここも（地域コミュニティ交通）まつかげ台・みはる野コース	合同会社ロコムテック	2018/11/12
11	ここも（地域コミュニティ交通）鳶尾コース	コミュニティカフェ荻野	2018/11/12
12	地域コミュニティサービス事業（自治会事業）	合同会社ロコムテック	2019/4/1

地域公共サービスの具体例（今後の予定）

NO	事業のヒント	事業者	日時
13	地域コミュニティスペース増設事業		
14	ここも（地域コミュニティ交通）横展開事業		
15	空き地を借用して農園サークル経営		
16	鳶尾団地空き室で学生のシェアハウス経営		
17	シェアハウス学生の送迎バス運行		
18	安心便利屋（屋内編：ゴミ出し、電球交換、部屋のお要替え等）		
19	ピヤガーデン（広場の活用その1）		
20	地域ネットショップ事業（代行又は仕入れ販売）		
21	不動産取引のバックヤード（情報提供及び地域不動産へのつなぎ業務）		
22	地域福祉法人の設立（生活支援及び終活サービス）		
23			

地域公共サービスのヒント

一人暮らしの高齢者の生活行動でのお困りごと



鳶尾団地の要望（平成28年2月のUR都市機構のアンケート調査より抜粋）

○団地コミュニティの形成に関して

- 新しい機能 ・カーシェアリング ・気軽に出入り可能なカフェ
- 交流の場 ・お隣り同士交流の機会 ・独身者の交流 ・グループ間の交流
- 自治会 ・会員の高齢化で困難で無理な面が多い

○子育て支援及び若年世帯の呼び込み

- 施設 ・駅に遠くても魅力を作って学生の移住を図る
- 交通 ・小型バス団地内循環で自家用車がなくても快適に
- ・駅までノンストップバス（通勤に）
- 家賃 ・ペット共生住宅で低家賃

○高齢者の安心居住

- 施設 ・団地内に薬局 ・バリアフリー ・寒いお風呂の改善
- 交通 ・生協での買い物、診療所への地域乗り合い交通
- 家賃 ・収入に見合う家賃
- サービス ・安否確認の導入 ・緊急時の連絡

○その他

- その他 ・来客用の駐車場確保 ・坂が多い ・日用品の配達 ・災害時の対応

2. 森の里ぐるっと事業

地域活動事例の最初は森の里ぐるっと事業です。この事業は森の里自治会の合意を得て、地域団体である森の里ふぉーらむが「厚木市市民協働提案事業」として厚木市に提案し、厚木市が支援基準に適合していると判断し、車両の確保に関する経費を3年間に限り負担することで実現しました。その他の運行経費は森の里ふぉーらむから分離独立して設立した(1社)厚木ぐるっとが負担します。4年目からは厚木市から委託された環境整備事業の収益金で自主運営しています。

森の里ぐるっと事業の要は下記の3点に要約できます。

1. 運行経路の各自治会の合意を得ること。
2. 運賃は無料であること
3. 経路は神奈中路線を避けること（公共交通と競合しないこと）

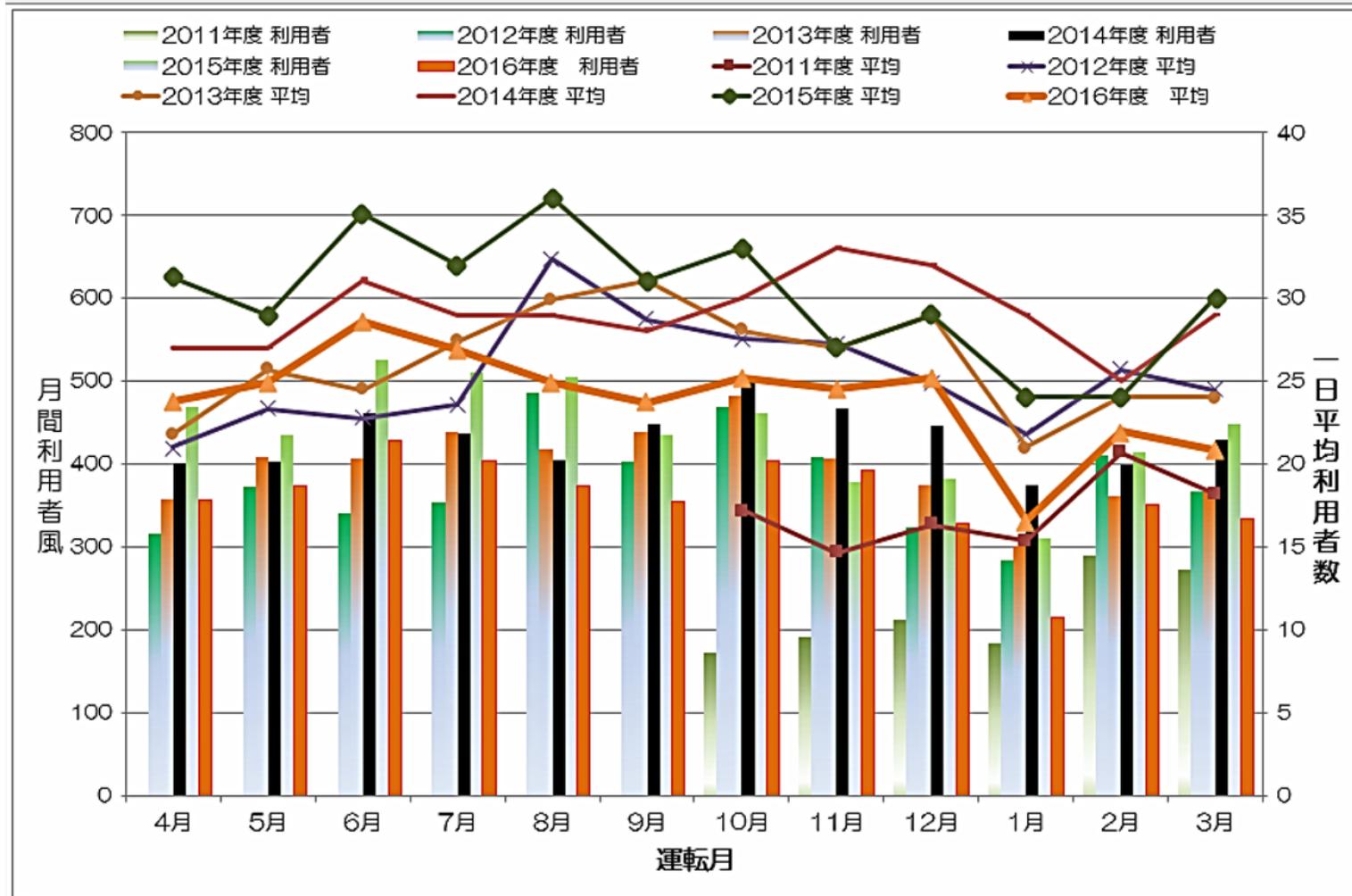
困難なのは（1）です。森の里の場合も困難でしたが、すでに地域活動で森の里ふぉーらむは実績があり、また森の里は5つの自治会で、相互に連携している連合組織なので合意を得ることができました。

地域乗合交通はリスクのある事業です。自治会の合意を得にくく、厚木市には地域乗り合い交通要項の仕組みがあり、支援条件に合えばどの団体でも支援されるのですがこの仕組みができてから支援を受けた団体はありません。

（1）は3年間の車両経費支援を受ける条件、（2）は道路運送法第4条に適合する条件、（3）は地域公共交通をWinWinの関係を保持するための条件です。

- （1）の資金調達がクリアできれば（2）と（3）及び安全運行に関しては
- （2）森の里ぐるっとの仕組みで完成していますので、
- （3）その仕組みを継承することで実現できます

2021年度から2016年度までの利用状況（週3日、1日8便）



3. Tobio ギャラリー事業

2012年（平成24年）7月、公民館館長の呼びかけにより、団塊の世代の交流の場「ティーサロンおぎの（仮称）」を荻野公民館調理室で発足しました。



発足時のアジェンダです。

1. おいしいコーヒーの淹れ方教室

講師 (株)オーロラコスモ
代表取締役 依田敏夫 様

2. 懇談会の内容

- ・コミュニティカフェについて
 - ①人と人が交差する自由な空間
 - ②あらゆる情報の交差点
 - ③人的ネットワークを広げる
 - ④自己実現にチャレンジ

○会のミッション

①キャリアを活かして、地域に貢献する。②地域の絆をつくる。

○「行くとホッとする、やさしい居場所」づくりには

①場所 ⇒ 中央商店街の空き店舗？

○コミュニティビジネス

①地域の抱える課題を、地域住民が主体となって、ビジネスの手法を活用しつつ解決。

○定例会の開催

① 毎月第一月曜日 16時～ 参加費 300円

仲間づくり

Tobio ギャラリー事業までの主な三つの行動計画

- 厚木市市民協働提案事業に提案。
- 空き店舗をUR都市機構から賃貸するため非営利の一般社団法人設立
- 店舗の改装。(メンバーの得意領域を生かして自作する)
この事業には東京工芸大学の支援をいただいています。
開店日は毎週の月、水、金の午前10時から午後4時までです。



改装中



改装後



平均一日20名が利用

4. 目指すところ（短期）

事業展開

合同会社ロコムテックは各種受託事業と独自事業企画開発で、地域のプラチナ世代を中心に生活を豊かにする新しいサービスや雇用を生み出すことを目指します。

現在進めている事業

1. みはる野発電所環境整備事業
2. お庭のせん定と除草作業事業
3. 地域コミュニティ交通、ここも事業
 - ① 実証実験 2018年11月12日から12月22日（6週間）
 - ② 実証運行 2020年2月1日から3月14日（16週間）
 - ③ 継続運行 2021年1月末より3年間



合同会社
Locomtec

本社 〒243-0208
神奈川県厚木市みはる野2-3-8

代表社員 岩崎 正昭

電話 046-206-8577
090-7630-9582（携帯）

Mail mk@locomtec.jp

HP <http://locomtec.jp>